



星川だより

秋

熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

『星川だより』 発行に寄せて

熊谷空襲を忘れない市民の会会員のみなさま、このたび会報『星川だより』を発行させていただきますことになりました。

毎年八月になると、広島、長崎の原爆忌、そして八月一日の敗戦の日と、新聞やテレビなどもこぞって特集を組み、戦争を二度と起こさないようにしよう、世界から戦争をなくそうという平和の願いがこの国に満ちあふれます。

しかし、お盆が過ぎると、途端に現実の世界に戻ってしまいます。沖縄県では東村高江にヘリパッドの建設が強行され、地元住民などが体を張って抵抗しています。こういったことは、本土ではほとんど報道されません。

戦後七一年間、私たちは戦禍に巻き込まれることもなく平和な時代を過ごすことができました。これは自然に与えられたものではなく、平和を希求するすべての人々の不断の努力のたまものと思います。

ところが、昨年九月一九日多くの憲法学者が違憲であるとすする安保関連法が強行採決されました。この国の政府は日本を戦争のできる国へと転換させたのです。軍靴の足音が少しずつ近づいて来ているのではないのでしょうか。

「ファイナール爆撃」という米軍最後の空襲の地熊谷、私たちはこの熊谷空襲の悲劇を二度と繰り返さないという強い思いで繋がりました。『星川だより』は、これから企画するイベント等をお知らせする手段として、会員同士の交流の場としていきたいと思えます。

- ★『星川だより』の配布、
・メーリングリストで繋がっている会
員はメール添付で送付します。それ
以外に郵送によりお届けします。
・ガラ携帯等PDFが見えない方はご連絡
ください。郵送いたします。

- ★定例会議（どなたでも参加自由）を月
1回開催しています。原則は、第2土
曜日の10:00～12:00、市民活動支援セ
ンターです。次回10月8日（土）

イベント報告

『顔』 ～沖縄戦を生き抜いた女の半生～



八月一四日（日）、「みんなの家」一周年記念、『顔～沖縄戦を生き抜いた女の半生～』

作・朗読 谷 英美（一四時・一七時二回公演）の朗読会が開催されました。熊谷空襲を忘れない市民の会はこの企画に協賛しました。

この作品は、川越在住の俳優 谷 英美さんが越谷在住の新垣文子さんの体験談をもとに書き下ろしたものです。

八月一四日は熊谷空襲の日です。まず、司会の米田さんが自作の詩「黙っている一枚の写真」を朗読しました。次に琉球餅を羽織った谷さんが登場、華やいだ雰囲気の中朗読会が行われました。

沖縄の一三歳の少女の戦争

体験です。題名の「顔」は、米軍の爆撃を避けるためガヤ（洞窟）に逃げ込むも日本兵に追い出され、爆撃を受け顔の一部が破損してしまい、そのことからいじめや、善意なども受けながらも強く生き抜いてきたことによりです。

朗読会の後、谷さんのお話が印象的でした。丸木美術館での新垣さんとの出会い、作品化の経緯、沖縄訪問など自分の生き方も重ね合わせて語ってくれました。ピアノの上に置かれた壊れた陶片は、新垣さんと沖縄を訪れたとき、ご自身が隠れたガヤを見つけ持って帰ってきた物。また、背景に使っていた絵画は、近田洋一さんという方の「Panokos（辺野古）」サブタイトル「家族の肖像」という作品だそうです。近田さんは琉球新報の記者から埼玉新聞に移り活躍された方で、編集委員室長をされました。谷さんはこの方との出会いも、沖縄に

思いを馳せることになったと語っておられました。

熊谷空襲の日にはふさわしい内容だったと思います。

定例会報告（主なもの）

九月一〇日（土）市民活動支援センターで行われた定例会において、当面の企画として①映画会の開催 ②会報の発行が決定されました。映画会はアメリカ人監督リラン・バクレー氏の「ザ・思いやり」です。観客数は六〇名から八〇名を予定しています。チケットの販売や当日お手伝いいただける方を募集します。

会報『星川だより』の発行については以下の通り概要が固まりました。

①名前は「星川だより」季刊とする。②会計報告は発行に合わせて行う。③イベントの開催案内等は会以外の企画でも会の趣旨にあったものは掲載する。④会員から広く投稿してもらう。④〇〇字から八〇〇字程度。⑤カンパ依頼も掲載する。⑥会報のサイズはA4サイズ、などです。会員のみなさまの投稿をお持ちします。

投稿

焼きつくされた街 熊谷

米田 かずみ

朝から晴れた川沿いの「日の出湯」は賑わった明日はお盆の中 日 仏さんが帰ってくる日だ

夜半 街が真昼になった

シューシューと唸り声を上げ 焼夷弾が雨のように降った

男の子を背負い 女の子を乳母車に載せた母の眼前に焼夷弾が落ちた

子を抱え 夢中で星川に飛び込んだ

川の中は膝を寄せ合うくらいに人々で埋まった

「こんな所にいたら死んでしまおう 出る」

子どもの父親が叫んだ

母は川をよじ登って火の燃えている中をくぐって逃げた

指がじりじりと焼けるのがわかった

上空を押し寄せるB29は翌朝まで襲撃しわずか一時間余りで街を灰にした

生死が分かれた

逃げた人々が助かり 川の中に飛び込んだ人々が煙で窒息死した

狭い川は 生きて話しかけるかのような死者の行列

翌日

家の前で焼夷弾を持つとした男の子の内臓が飛び出し

指が煙に飛び散った 享年十二歳 兄の手で 男の子は地藏さまになった

街に玉音放送が流れた

流れ行く死者の行列

女神の像が 鎮魂と祈りを続ける

市民劇団「れんこん座」公演のご案内

『戦後71年父母の証言』

～アニメ映画「最後の空襲 熊谷」も上映～
日にち：10月16日（日）

時間：13:30～15:30（開場13:00）

場所：鈴谷公民館 1階多目的ホール

さいたま市中央区鈴谷 7-5-11

※埼京線与野本町駅下車徒歩約10分
彩の国さいたま芸術劇場通り沿い

料金：無料

内容：戦後71年間封印してきた心の傷を
父母に代わって団員が語ります。

思いやり予算って何？「ザ・思いやり」熊谷上映会

日時：2016年11月6日（日）

・開場 13:30

・上映会 14:00～15:30

・意見交換会 15:30～16:00

主催：熊谷空襲を忘れない市民の会

場所：熊谷市立勤労会館 第3会議室

・熊谷市石原1410-1 電話048-523-3122

・最寄り駅 秩父鉄道 石原駅 徒歩約10分

・駐車場あり

料金：・一般 800円（当日1000円）

・大学生・障がい者 400円（当日500円）

・高校生以下 無料

内容：監督リラン・バクレー

知ッテマスカ？

- ・日本の税金が在日米軍のために使われていることを
- ・在日米軍の家族のために、住宅、小中学校、教会、銀行、ゴルフ場、マクドナルドなどの設備に税金が使われていることを
- ・電気・水道・ガスは使い放題、遊びでも有料道路料金がすべてタダということを



監督・編集：リラン・バクレー

～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願ひします。

なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号番号：00100-7-265321

口座名称：熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ：クマガヤクウシュウヲワスレナイシ
ミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名（店番）：0一九店（019）

預金種目：当座

口座番号：0265321

編集担当者を募集します。

編集委員 吉田庄一、米田主美

連絡先 吉田庄一 携帯090-4957-9181

メール imajn241@gmail.com

※会計報告は次号から掲載します。